

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 18 年 7 月 27 日 (2006.7.27)

【公表番号】特表 2005-530564 (P2005-530564A)  
 【公表日】平成 17 年 10 月 13 日 (2005.10.13)  
 【年通号数】公開・登録公報 2005-040  
 【出願番号】特願 2004-516214 (P2004-516214)  
 【国際特許分類】

**A 4 7 J 36/26 (2006.01)**

【F I】

A 4 7 J 36/26

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 6 月 6 日 (2006.6.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

携帯型加熱システムであって、以下：

囲まれた面、熱伝導性底端部、および頂端部を有する容器であって、該頂端部は、加熱されるべき内容物の導入および取り出しのための開口部を形成し、該底端部は、熱を受容するための外部底面を有する、容器；

ヒータ

を備え、

該ヒータは、以下：

円周方向で該容器の該外部底面に結合されている頂部リム、該頂部リムから下向きに延び、そしてその中に形成されている複数の排気口を有する側面構造体、および底部リムを有する、頂部ハウジング；

単一の熱伝導性部材であって、該単一の熱伝導性部材は、連続片の材料を含み、該連続片の材料は、該外部底面の周辺端部の範囲全体に固定して取り付けられ、該外部底面の周辺端部の範囲全体に隣接して配置され、そして該外部底面の周辺端部の範囲全体に沿って連続的に延び、かつ、内径を規定する内部周辺端部および外径を規定する外部周辺端部を有し、該伝導性部材は、該外部底面から下向きに延びる複数の波状突出部を有する、単一の熱伝導性部材；

バーナーであって、該バーナーは、該外部底面の下に、該外部底面に対して中心の位置で配置される熱出口ヘッドを有し、そして燃料源に結合されるように構成された燃料取り込みポートを有し、該熱出口ヘッドは、該熱伝導性部材の内径よりも小さい直径を有し、そして該外部底面の中心領域に熱を送達するように構成されている、バーナー；

該底部リムと結合するように構成され、そして該熱源を実質的に囲む、底部ハウジングであって、該底部ハウジングは、その中に形成された複数の空気入口ベントを有する、底部ハウジング、

を備える、携帯型加熱システム。

【請求項 2】

前記単一の熱伝導性部材が、隣接する突出部の間に相互接続するセグメントを含む、請求項 1 に記載の携帯型加熱システム。

【請求項 3】

前記単一の熱伝導性部材の形態が、ほぼ方形波の形状である、請求項 2 に記載の携帯型加熱システム。

【請求項 4】

前記相互接続するセグメントが、前記外部底面に対して実質的に平行である、請求項 2 に記載の携帯型加熱システム。

【請求項 5】

前記単一の熱伝導性部材が、アルミニウム材料から構成される、請求項 1 に記載の携帯型加熱システム。

【請求項 6】

前記単一の熱伝導性部材が、約 0 . 0 1 2 インチの厚さを有するストリップから形成される、請求項 1 に記載の携帯型加熱システム。

【請求項 7】

前記単一の熱伝導性部材が、前記内部周辺端部と前記外部周辺端部との間に約 0 . 3 インチの半径方向の寸法を有する、請求項 1 に記載の携帯型加熱システム。

【請求項 8】

前記熱伝導性部材の前記突出部が、約 0 . 5 インチ下向きに延びる、請求項 1 に記載の携帯型加熱システム。

【請求項 9】

前記相互接続するセグメントが、突出部の間に約 0 . 0 5 インチの長さを有する、請求項 2 に記載の携帯型加熱システム。

【請求項 10】

前記単一の熱伝導性部材が、約 8 . 6 6 ~ 9 . 4 8 の範囲内のアスペクト比を有する、請求項 1 に記載の携帯型加熱システム。

【請求項 11】

前記単一の伝導性部材が、超音波溶接によって前記外部底面に取り付けられる、請求項 1 に記載の携帯型加熱システム。

【請求項 12】

携帯型加熱システムであって、該携帯型加熱システムは：

バーナーであって、該バーナーは、加熱されるべき表面の下の中心に配置される熱出口ヘッドを有し、そして燃料源に結合されるように構成された燃料取り込みポートを有し、該熱出口は、ほぼ丸い形態であり、一定の直径を有し、そして該表面の中心領域に熱を送達するように構成されている、バーナー；

単一の熱伝導性部材であって、該単一の熱伝導性部材は、連続片の材料を含み、該連続片の材料は、該表面の周辺端部の範囲全体に固定して取り付けられ、該外部底面の周辺端部の範囲全体に隣接して配置され、そして該外部底面の周辺端部の範囲全体に沿って連続的に延び、かつ、内径を規定する内部周辺端部および外径を規定する外部周辺端部を有し、該内径は、該一定の直径よりも大きく、該伝導性部材は、該表面から下向きに延びる複数の波状突出部を有する、単一の熱伝導性部材；

頂部リムを有するスカートであって、該頂部リムは、円周方向で、該表面に結合されており、そして該突出物を囲んでおり、該スカートは、その内部に形成された一連の排気ベントを有し、そして底部リムを有する、スカート；

該底部リムと結合するように構成され、そして該バーナーを実質的に囲む、基部であって、該基部は、その中に形成された一連の空気入口ベントを有する、基部を備える、携帯型加熱システム。

【請求項 13】

前記単一の熱伝導性部材が、隣接する突出部の間に相互接続するセグメントを含む、請求項 12 に記載の携帯型加熱システム。

【請求項 14】

前記突出部および相互接続するセグメントが、ほぼ方形波の形状を形成する、請求項 13 に記載の携帯型加熱システム。

【請求項 15】

前記セグメントが、加熱されるべき前記表面に対して実質的に平行に整列されている、請求項 13 に記載の携帯型加熱システム。

【請求項 16】

前記単一の熱伝導性部材が、アルミニウム材料から構成される、請求項 12 に記載の携帯型加熱システム。

【請求項 17】

前記熱伝導性部材が、約 0.012 インチの厚さを有するストリップから形成される、請求項 12 に記載の携帯型加熱システム。

【請求項 18】

前記熱伝導性部材が、前記内部周辺端部と前記外部周辺端部との間に約 0.3 インチの半径方向の寸法を有する、請求項 12 に記載の携帯型加熱システム。

【請求項 19】

前記突出部が、前記表面から約 0.5 インチ下向きに延びる、請求項 12 に記載の携帯型加熱システム。

【請求項 20】

前記相互接続するセグメントが、約 0.05 インチの長さである、請求項 13 に記載の携帯型加熱システム。

【請求項 21】

前記熱伝導性部材が、約 8.66 ~ 9.48 の範囲内のアスペクト比を有する、請求項 12 に記載の携帯型加熱システム。

【請求項 22】

前記熱伝導性部材が、前記加熱されるべき表面に、鋲付けによって取り付けられている、請求項 12 に記載の携帯型加熱システム。

【請求項 23】

前記熱伝導性部材が、前記加熱されるべき表面に、超音波溶接によって取り付けられている、請求項 12 に記載の携帯型加熱システム。

【請求項 24】

物質を加熱するためのシステムであって、該システムは：

囲まれた面、熱伝導性底端部、および頂端部を有する容器であって、該頂端部は、該物質の導入および取り出しのための開口部を形成し、該底端部は、熱を受容するための中心領域を有する外部底面を有する、容器；

一連の一体化して接続された熱伝導性突出部であって、該突出部は、連続片の材料を含み、該連続片の材料は、該外部底面の周辺端部の範囲全体に固定して取り付けられ、該外部底面の周辺端部の範囲全体に隣接して配置され、そして該外部底面の周辺端部の範囲全体に沿って連続的に延び、該突出部は、該容器の外部底面から延び、そして該中心領域と一緒に一定の直径を有する空洞を規定する、突出部；ならびに

熱源を備えるヒータであって、該熱源は、該空洞の下に配置された熱出口ヘッダーを有し、そして該空洞へ熱を送達するように構成されており、該ヘッダーは、ほぼ丸の形状であり、そして該一定の直径よりも小さい直径を有する、ヒータを備える、システム。

【請求項 25】

前記突出部が、隣接する突出部の間のセグメントによって相互接続されている、請求項 24 に記載のシステム。

【請求項 26】

前記突出部および相互接続するセグメントが、ほぼ方形波の形状を選択的に形成する、請求項 25 に記載のシステム。

【請求項 27】

前記相互接続するセグメントが、前記外部底面に対して実質的に平行に配置される、請求項 25 に記載のシステム。

【請求項 28】

前記突出部が、アルミニウム材料から構成される、請求項 24 に記載のシステム。

【請求項 29】

前記突出部が、約 0.012 インチの厚さを有するストリップから形成される、請求項 24 に記載のシステム。

【請求項 30】

前記突出部が、前記内部周辺端部と前記外部周辺端部との間に約 0.3 インチの半径方向の寸法を有する、請求項 24 に記載のシステム。

【請求項 31】

前記外部底面から延びる前記突出部の長さが、約 0.55 インチである、請求項 24 に記載のシステム。

【請求項 32】

前記熱伝導性突出部が、約 8.66 ~ 9.48 の範囲内のアスペクト比を有する、請求項 24 に記載のシステム。

【請求項 33】

前記熱伝導性突出部が、前記外部底面に、鐳付けによって固定されている、請求項 24 に記載のシステム。

【請求項 34】

前記熱伝導性突出部が、前記外部底面に、超音波溶接によって固定されている、請求項 24 に記載のシステム。

【請求項 35】

物質を加熱するためのヒータと一緒に使用するための加熱容器であって、該ヒータは、バーナーヘッドを含む熱源および燃料供給システムに結合するためのポートを有し、該加熱容器は、

囲まれた面、熱伝導性底端部、および頂端部を有する容器であって、該頂端部は、該物質の導入および取り出しのための開口部を形成し、該底端部は、中心領域を有する外部底面を有する、容器；ならびに

一連の一体化して接続された熱伝導性突出部であって、該突出部は、連続片の材料を含み、該連続片の材料は、該外部底面の周辺端部の範囲全体に固定して取り付けられ、該外部底面の周辺端部の範囲全体に隣接して配置され、そして該外部底面の周辺端部の範囲全体に沿って連続的に延び、該突出部は、該容器から延び、そして該中心領域と一緒に、一定の直径を有する空洞を規定する、突出部

を備え、

ここで、該バーナーヘッドは、該空洞の下のほぼ中心に配置され、そして該一定の直径よりも小さい直径を有する、

加熱容器。

【請求項 36】

前記突出部が、隣接する突出部の間のセグメントにより相互接続されている、請求項 35 に記載の加熱容器。

【請求項 37】

前記突出部および相互接続するセグメントが、ほぼ方形波の形状を選択的に形成する、請求項 36 に記載の加熱容器。

【請求項 38】

前記相互接続するセグメントが、前記外部底面に対して実質的に平行に配置される、請求項 36 に記載の加熱容器。

【請求項 39】

前記突出部が、アルミニウム材料から構成される、請求項 35 に記載の加熱容器。

【請求項 40】

前記突出部が、約 0.012 インチの厚さを有するストリップから形成される、請求項 35 に記載の加熱容器。

【請求項 4 1】

前記突出部が、前記内部周辺端部と前記外部周辺端部との間に約 0 . 3 インチの半径方向の寸法を有する、請求項 3 5 に記載の加熱容器。

【請求項 4 2】

前記外部底面から延びる前記突出部の長さが、約 0 . 5 5 インチである、請求項 3 5 に記載の加熱容器。

【請求項 4 3】

前記熱伝導性突出部が、約 8 . 6 6 ~ 9 . 4 8 の範囲内のアスペクト比を有する、請求項 3 5 に記載の加熱容器。

【請求項 4 4】

前記熱伝導性突出部が、前記外部底面に、鐳付けによって固定されている、請求項 3 5 に記載の加熱容器。

【請求項 4 5】

前記熱伝導性突出部が、前記外部底面に、超音波溶接によって固定されている、請求項 3 5 に記載の加熱容器。

【請求項 4 6】

携帯型加熱システムであって、該携帯型加熱システムは、

囲まれた面、熱伝導性底端部、および頂端部を有する空洞を規定する容器であって、該頂端部は、該空洞への加熱されるべき内容物の導入および該空洞からの加熱されるべき内容物の取り出しのための開口部を形成し、該底端部は、熱を受容するための外部底面を有する、容器；

円周方向で該容器の該外部底面に結合されている頂部リム、該頂部リムから下向きに延び、そしてその中に形成されている複数の排気ベントを有する側面構造体、および底部リムを有する、頂部ハウジング；

底部ハウジングであって、該底部ハウジングは、該底部ハウジングが該頂部ハウジングに結合される場合、該頂部ハウジングの底部リムと選択的に結合するように構成された頂部リムを有し、そして該外部底面の下に配置された熱出口ヘッドを有するバーナーを含み、該底部ハウジングは、その中に形成された複数の空気入口ベントをさらに有する、底部ハウジングを備え、

ここで、該底部ハウジングは、該頂部ハウジングから取り外し可能であり、そして保管のために該容器の空洞中に一時的に配置されるように構成され、かつそのような大きさである、

携帯型加熱システム。

【請求項 4 7】

前記底部ハウジングが、前記容器の頂部端部に前記頂部リムが面する直立の位置で、前記容器空洞中に一時的に配置されるように構成され、かつそのような大きさである、請求項 4 6 に記載の携帯型加熱システム。

【請求項 4 8】

前記バーナーの燃料取り込みポートが、前記底部ハウジングの下方端部に配置され、それによって、該底部ハウジングより下の位置での燃料源への結合を容易にする、請求項 4 6 に記載の携帯型加熱システム。

【請求項 4 9】

前記燃料源が前記バーナーの燃料取り込みポートに結合される場合、前記底部ハウジングおよび前記燃料源の両方は、前記容器の空洞中に保管可能である、請求項 4 8 に記載の携帯型加熱システム。

【請求項 5 0】

前記燃料源が、前記バーナーの燃料取り込みポートに差込可能に結合される、請求項 4 9 に記載の携帯型加熱システム。

【請求項 5 1】

前記底部ハウジングがまた、前記熱出口ヘッドより上の位置まで延びる点火器を備える、請求項 4 6 に記載の携帯型加熱システム。

【請求項 5 2】

前記点火器が、前記下方ハウジングの頂部リムのレベルより上で配置される部分を有する、請求項 5 1 に記載の携帯型加熱システム。

【請求項 5 3】

請求項 5 2 に記載の携帯型加熱システムであって、前記容器の頂部端部のためのカバーを備え、該カバーは、該底部ハウジングが前記容器の空洞中に保管されるときに前記点火器の一部を受容するためにその中に刻み目を有し、そして該頂部端部のカバーは、該容器の頂部端部を覆って適切な位置にある、携帯型加熱システム。

【請求項 5 4】

前記底部ハウジングの頂部リムが、前記底部ハウジングの上方リム内への前記頂部ハウジングの底部リムの摩擦ばめによって該頂部ハウジングの底部リムに結合される、請求項 4 6 に記載の携帯型加熱システム。

【請求項 5 5】

請求項 5 3 に記載の携帯型加熱システムであって、さらに、前記底部ハウジングの上方リムは、1 つ以上の内向きに延びる窪みを含み、該窪みは、前記上方ハウジングにおける対応するスロットと合う、携帯型システム。